【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和4年4月28日(2022.4.28)

【国際公開番号】WO2021/044722
【出願番号】特願2021-543635(P2021-543635)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｊ 15/00(2006.01)
Ｂ０５Ｃ 5/00(2006.01)
Ｂ０５Ｄ 1/26(2006.01)
Ｂ０５Ｄ 7/24(2006.01)
Ｂ０５Ｄ 3/00(2006.01)
Ｂ０５Ｄ 3/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｊ 15/00 Ｂ
Ｂ０５Ｃ 5/00 １０１
Ｂ０５Ｄ 1/26 Ｚ
Ｂ０５Ｄ 7/24 ３０２Ｑ
Ｂ０５Ｄ 3/00 Ｂ
Ｂ０５Ｄ 7/24 ３０１Ｒ
Ｂ０５Ｄ 3/02 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和2年10月30日(2020.10.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
吐出装置により、基材上に熱硬化性の液状ゴムを吐出する工程と、
加熱によって、吐出された液状ゴムを硬化させることで、前記基材上にゴム製のガスケットを形成させる工程と、
を有すると共に、
前記吐出装置は、液状ゴムが流れる流路を開閉する弁体と、前記弁体による弁の開閉によって、液滴状の液状ゴムが非連続的に吐出される吐出口と、を備えており、前記吐出口が前記基材に対して非接触の状態で用いられる非接触式吐出装置であることを特徴とするガスケットの製造方法。
【請求項２】
前記吐出装置は、圧縮エアによって、前記弁体を駆動させるエアパルス式アクチュエータを備えることを特徴とする請求項１に記載のガスケットの製造方法。
【請求項３】
前記吐出装置は、ピエゾ素子によって、前記弁体を駆動させるピエゾ式アクチュエータを備えることを特徴とする請求項１に記載のガスケットの製造方法。
【請求項４】
前記基材に形成された凸部の表面に、前記吐出装置によって、液状ゴムを吐出することを特徴とする請求項１，２または３に記載のガスケットの製造方法。
【請求項５】
前記液状ゴムは、希釈後の粘度が１００ｍＰａ・ｓ以上３００ｍＰａ・ｓ以下にされた

材料が用いられることを特徴とする請求項１～４のいずれか一つに記載のガスケットの製造方法。